

# 原田ゼミナール

## ～河川環境保全の研究～

### ～海ごみ問題について～

現在、世界的に海ごみが問題となっています。そのプラスチックごみの多くは、生活ごみと呼ばれ、我々人間が生活によって海や河川に流出したものです。私たちが行う活動の中でも、こういった生活ごみは頻繁に目にするのがあり、他人事では済まされなくなっていることが分かりました。

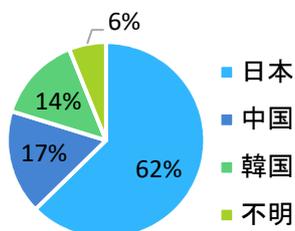
これらが海岸に漂着することで景観を損なうだけでなく、海洋生物の誤飲・誤食による死亡や、生態系の変化を引き起こすといった影響があります。

原田ゼミナールではこの問題に目を向け、河川環境の保全や使い捨てのプラスチックによるごみ問題について学んでいます。



↑ペットボトルを国別に分別

### 国別漂着ペットボトル



### ～冠島でのペットボトル調査～

京都府舞鶴市冠島でゼミ合宿を行い、漂着ペットボトルの調査を行いました。冠島の周囲は断崖で、全体がオオミズナギドリ繁殖地として、国の天然記念物に指定されています。

合宿では、どこの国からペットボトルが流れ着くのかを、ペットボトルのリサイクルマークやバーコードから特定し、統計を取りました。

合宿の夜には花火を行ったり、新鮮な魚を使った料理を食べたりと、楽しいイベントも盛沢山です。ゼミの仲間と絆が深まり、思い出に残る合宿になっています。

### ～御厨祭でのリユース食器の利用～

御厨祭では野菜炒めを出店しました。その際、ただ出店するだけでなく、プラスチックごみの削減の問題を重視しながら行いました。

プラスチックごみの削減については、リユース食器を利用することで対策しました。リユース食器とは何度も繰り返し洗って再利用できるプラスチック製のカップや食器です。

お客様にリユース食器で提供することにより、リユース食器の知名度をあげ、プラスチックごみに対する意識を変えてもらえるように促しました。また、リユース食器を他の模擬店でも利用してもらうことで、より、リユース食器に触れる機会を増やしました。



↑御厨祭での様子

### ～イタセンパラ復帰活動～

私たちは、毎月第2日曜日に、庭窪ワンドでイタセンパラ復帰活動を行っています。イタセンパラとは天然記念物と国内希少野生動物種に指定されている淡水魚で、外来種の影響により、野生絶滅に近い状況にあります。

活動内容は、淀川の清掃活動や外来種の駆除、生物調査などがあります。生物調査では地引網で捕獲した生物を、外来種と在来種に分別し、その比率を調べ、分析しています。



↑イタセンパラ

←漂着ゴミの清掃活動

### ～最後に～

日本ではまだビニール袋やペットボトルでの販売が行われていますが、ヨーロッパではすでにビニール袋は廃止され、持つだけでも禁止されています。つまり、日本はプラスチック問題に関して、遅れをとっているということです。この遅れを少しでも改善できるよう、私たち原田ゼミナールは研究をしています。

保全活動を通じて、一人ひとりの意識を変えていくことで、プラスチック問題が改善できると考えています。